

愛知県自然観察指導員連絡協議会

協議会ニュース

185号

2025.11



Contents

- 1 2025年度 第3回 理事会報告
- 2 協議会交流の日・新人研修会 要綱（案） 浅井聰司
- 3 あいちの自然観察報告（6/7） 神宮の森を体感しよう 名古屋支部
- 4 あいちの自然観察報告（7/13） 面ノ木園地自然観察会 東三河支部
- 5 あいちの自然観察報告（6/7） 明徳公園自然観察会 尾張支部
- 6 ピースボートで見た「山火事と自然」 日本の山火事 中西 正
- 7 春日井市庄内川の植物 内海勇夫
- 8 編集後記

今号の表紙 イヌセンブリ 小牧市 マメナシの里

2025年度 第3回 理事会報告

10月26日（土）場所：あいち健康の森

◆協議事項

1. 自然観察指導員講習会

日時 11月15日（土）～11月16日（日） あいち健康の森（愛知県知多郡東浦町）

希望者は104名 受講決定者は58名 NACS-Jから案内済み

2. 新人研修会・協議会交流の日（詳細は案内参照 次ページ）

日時 1月25日（日） 場所 東三河ふるさと公園（愛知県豊川市御油町滝ヶ入11-2）

担当 浅井 内容 午前中グループで観察会のテーマ探しと発表午後はクラフト

3. 2026年度 総会

日時 3月20日（金祝）講演：14:00～15:20 休憩：15:20～15:30 意見交換会：15:30～16:00

懇親会：17:00～

場所：名古屋市市民会館（吹上）

講演者：稻垣政志 氏（医師）

講演内容は未定 三重昆虫談話会会长・日本昆虫分類学会・コガネムシ研究会 昆虫のお話を
をしていただきます。

医師業と昆虫研究を長年両立中、鈴鹿川河川敷で新種発見！ 和名を「ハバビロコケンマグソコガネ」学名 ミレスス・ヨリコア

※議案書は協議会ニュースについて、ホームページにアップする。

また、会場の都合上、参加者の人数を事前に把握したいので、出席の意思を後日ホームページでお知らせする方法をお願いします。

4. 次回以降の理事会

第4回 2月21日（土） 13:30～ 場所は予定

◆ 活動報告からのお願い

1. 会計

協議会保険対象の観察会に、未納があります。各支部・各担当者での確認をお願いします。

2. 保険

参加人数の報告を翌月の5日までに必ず報告してください。

3. その他

「あいちの自然観察会」のリーフレットができました。各支部に配布しましたのでご利用ください。

協議会交流の日・新人研修会のご案内

日時 2026年1月25日(日) 10:00~15:00

場所 県営東三河ふるさと公園 豊川市御油町滝ヶ入11-2 電話 0533-87-9301

日程 9:30 受付開始 北管理棟 会議室

10:00 開会

午前中 5~7名のグループに分かれて、観察会の下見

園内マップを見ながら、コース設定

観察会のテーマを考える。観察ポイントを決める

11:45 会議室に戻って、各グループで発表

12:00 昼食・休憩 昼食は各自で持参してください。

13:00 クラフトづくり 講師 河江 アシスタント 浅井

14:00 全体で懇談会

15:00 閉会

アクセス 名鉄名古屋本線御油駅から徒歩で約25分

名鉄名古屋本線・豊川線国府駅から徒歩で約25分

東名高速道路 音羽蒲郡インターチェンジから車で15分

車で来られる方は、北側の駐車場に止めてください。



参加申し込みはこちらから

https://docs.google.com/forms/d/1Lg2XwlCvbi4a_-

XhuSyuw5NG09.j722Uc05cMgOnPL3I/edit?pli=1

あいちの自然観察会報告

テーマ 神宮の森を体感しよう！！ 名古屋支部 滝田 久憲

名古屋支部では、今年度のあいちの自然観察会を6月7日(土)に熱田神宮で実施しました。会場となった熱田神宮は緑豊かな森の中にある、古くから「熱田さん」とも呼ばれて名古屋市民にも親しまれ、天照大神が祀られている本殿には、一年を通して多くの参拝者が訪れてています。また、そばにある名鉄神宮駅前駅の前には、昨年の9月に新商業施設「あつた n a g A y a」ができたこともあります。外国人を含む多くの観光客が神宮を訪れるようになりました。

ところであまり知られていませんが、愛知県は神社仏閣の数で日本一となっています。特に寺院数が断トツ一位となっています。それは、戦国時代には3大英傑を輩出し、歴史の中心的な舞台となつた場所でもあり、いくつかの街道が交差する地理的な特徴から、色々な文化の交流があったからだと推測されます。その影響で名古屋市には418箇所の神社と1012箇所の寺院があるそうです。こうした神社や寺院にはご神体やご本尊を守るためにその周りに常緑樹を主体とした社寺林などがあります。そして、その樹木の多くが長く保全されてきたために大木が多く、その一部は名古屋市によって保存樹に指定されており、その地域の潜在植生を知ることができます。特に都市化の進んだ名古屋市では緑被率が少なく、緑地の確保が課題となります。こうした社寺林が貴重な存在となっています。その社寺林の代表選手が熱田神宮の森と言えます。

当日は、熱田神宮東門前に午前9時30分に集合しました。この日の参加者は一般9名(内、子供5名)、会員6名でした。熱田神宮や社寺林の観察などの簡単な説明の後、正参道に向けて出発しました。正参道の少し手前で左に折れ、清雪門の前を通り、南新宮社の周辺を散策しました。その後、正門横に出て、正参道を本宮に向かって北上しました。途中、くさなぎ広場に立ち寄り、南進池の周辺の樹木を観察しました。最後に大楠が立っている広場に行き、まとめの話の後解散しました。

今回の自然観察会では、カシやシイなどの常緑樹を中心に多くの樹木を観察することができました。多くの樹木の花期は終わっていましたが、サンゴジュの花だけが私たちの目を楽しませてくれました。名古屋支部がこれまで行ったあいちの自然観察会は、都市の自然の制約から、緑(樹木)に触れることをテーマとしています。樹木に触れ、その役割を知り、次世代に残していくことが目標となります。熱田神宮の社寺林の自然観察会は今回が初めてでしたが、交通の便も良く、機会があればまたチャレンジして、その自然の奥深さに触れてみたいと思いました。



観察会風景



神宮の大楠

あいちの自然観察会 ~面ノ木園地自然観察会~

東三河支部 2025年7月13日(土) 晴れ

当初は面ノ木園地の木地師の里近くにある、旧津具村の天然記念物に指定を受けている湿地をメインに観察会を行うつもりであった。過去にはこの湿地にノハナショウブ・ミズチドリ・サワギキョウなどが咲き誇り、周囲には多くのツチアケビが開花していた。そんな情景を頭に描いて下見を行って愕然。ニホンジカの食害によって、ノハナショウブもミズチドリも、サワギキョウまでも失われてしまっていた。湿地の周囲に多数あったツチアケビも1本も見当たらない。仕方なく、テーマをニホンジカの食害による自然環境の変化に変えて、観察会を実施した。

林道沿いには、ニホンジカが忌避するイワヒメワラビやコバノイシカグマなどが大きな群落を形成している。これらは暖地性のシダ植物であり、1000mを超えるこの場所には20年前には全く生育していなかった。地球温暖化の影響が、強く感じられる状況であった。

ニホンジカが食べ残したクモキリソウや、高い木に絡んでいて鹿が届かないイワガラミ、サンカクヅルなどの蔓植物を観察しながら木地師の里へと向かう。長く降っていなかった雨が上がった後ということで、キノコが多く、様々なキノコがフレッシュな子実体を立ち上げており、星野会長作画による美しいイラストを活用しての説明もあった。鹿が届く高さまでの葉を全て食べられてしまった植物が多くあり、ディアラインが良くわかる。一斉開花した後すでに何年もたっているのに、スズタケの群落は復活できていない。若い芽が出てくると鹿に食べられてしまうからである。そんな様子を説明しながら観察会を進めた。途中で旧津具村では初めての確認となるアスピカズラを見つけることができたのは収穫であった。

駐車場にほど近い藪の外れにアクシバのかわいらしい花が咲いているのを見て、観察会を終えた。

昨年10月末 面の木峠



あいちの自然観察会 ~明徳公園自然観察会~

尾張支部 2025年6月7日（土）晴れ

暦：芒種 初候/蠟蟬生 芒のある穀物をまく頃。麦を刈り田植が行われる頃。かまきりが生まれる頃。



自然の不思議やたくさんの生き物と出逢い、わあきやあと言いながら森をみんなで歩き、楽しい観察会となりました。キツリフネの種を触るとピヨヘンとはじけ飛びびっくり。また、傘を逆さに持ちながら、枝葉にいる虫をキャッチ！虫かごに入れて、ヤブキリ幼虫とじっくりご対面。そしてスケッチタイムの発表では、それぞれの違った視点や表現にたくさん逢えました。桑の実やおやつもみんなで味わうとおいしさ倍増♪心残りは集合写真を忘れたこと。手作りお土産の提供や、運営サポート、また他支部からも含め当日参加してくれた指導員仲間の皆さん、心強く楽しい観察会でした。ありがとうございました。（辻）